

都市再生整備計画

しものせきしちゆうしんしがいち
下関市中心市街地地区

(第3回変更)

やまぐち しものせきし
山口県 下関市

令和8年1月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【歩行者が安心して快適に歩けるウォークアブル空間の創出により、観光客や住民の回遊性を向上させる】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者がスムーズに移動できる歩行者視点での環境整備を行う。 案内看板の設置により、拠点間の回遊性を向上させる。 誰もが安心して快適に生活できる環境整備を行う。 下関市総合交通戦略に基づき、歩行者・自転車利用環境の改善及び交通に関する情報提供等、安全・安心な交通環境の形成に向け、まちなかウォークアブル推進事業と一体的な取り組みを推進する。 	<p>【基幹事業】(地域生活基盤施設)情報板設置 【基幹事業】(高質空間形成施設)竹崎・園田線歩道高質化、唐戸町5号線歩道高質化、南部町6号線歩道高質化、南部町8号線歩道高質化、三百目・本町線歩道高質化、岬之町8号線歩道高質化、丸山線歩道高質化、竹崎町自歩道1号線(下関駅前地下道)高質化 【提案事業】(事業活用調査)事業効果分析調査 【提案事業】(まちづくり活動推進事業)中心市街地交通円滑化対策</p>
<p>【まちなかの資源や低未利用地を活用した、居心地がよい滞留空間整備による賑わい再生を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広場空間などの公共空間や官民の遊休不動産を活用し、官民連携によるまちなかの賑わい再生を図る。 多様な人々が自由に集い憩える滞留空間の整備を行う。 社会実験などを通じて、快適な滞在空間の創出に向け、必要な施設、設備や空間の規模などの調査を行い、整備に向けた緒元を検討する。 令和8年度より下関市商店街等競争力強化事業費補助金の新たな補助メニューを創設し、まちづくりのパートナーである一般社団法人からまち(都市再生推進法人)と連携し、道路高質化にあわせた沿道店舗のリノベーションなど、ハード・ソフト対策の両面から官民一体となった道路を活かしたまちづくりを推進する。 	<p>【基幹事業】(地域生活基盤施設)オーヴィジョン海峡ゆめ広場再整備 【基幹事業】(高質空間形成施設)歴史的建造物等夜間景観照明高質化 【基幹事業】(滞在環境整備事業)竹崎・園田線ほか社会実験 【提案事業】(地域創造支援事業)関門橋景観整備負担金、商店街等競争力強化事業費補助金 【関連事業】オーヴィジョン海峡ゆめ広場Park+PFI 【関連事業】フードイベント開催事業費負担金 【関連事業】下関港ウォーターフロント開発推進事業 【関連事業】市立しものせき水族館「海響館」改修事業 【関連事業】海峡エリアビジョン推進事業 【関連事業】「星野リゾート リゾナーレ下関(仮称)」整備事業 【関連事業】空き物件活用ビジネス支援事業費補助金 【関連事業】地域商業機能複合化推進事業補助金 【関連事業】竹崎町四丁目地区優良建築物等整備事業</p>

その他

【下関海峡エリアビジョン(令和4年3月)の概要】
 海峡エリアの目指すべき将来像やまちづくりの方向性を示すもので、「市民」、「事業者」、「行政」などがその将来像と方向性を共有するための羅針盤として位置付け。

- 全体ビジョン「カイキョー暮らし。カイキョー、よってく？」
 - 「他にはない」海峡の魅力を、「いつも側にある」体験に昇華する。
 - 心に残る体験を重ねて、「カイキョーで暮らしたい」という想いを育む。
 - 体験を重ねていく人が、さらに体験を生み出す人になる。
- 各エリアのコンセプト
 - 【下関駅エリア】小さな取組が集まって、まち全体が多世代の居場所になる「多世代ウォークアブルエリア」
 - 【あるかぼーと・唐戸エリア】次代を担う子ども・若者を中心に憩い・遊び・学びがあふれる場「未来アンビマナビエリア」
 - 【火の山・壇之浦エリア】火の山の自然と眺望、壇之浦の歴史を楽しむ、光の山「山海空アドベンチャーエリア」
- エリアを繋げる

3つのエリアを繋げて回遊性を向上させるため、「新モビリティの検討」、「ウォークアブルの推進」、「情報の連携」を行い、さらに魅力あふれるまちを目指す。

【地域活性化に関する連携協定(令和4年4月)の概要】

- あるかぼーと地区の主要な事業主体である株式会社星野リゾートホールディングスと一体となって、「あるかぼーと・唐戸エリア」全体の魅力向上に取り組むことを目的に、連携協定を締結。

【あるかぼーと・唐戸エリアマスタープラン(令和5年2月)の概要】

「下関海峡エリアビジョン」を踏まえ、あるかぼーと・唐戸エリア一帯の資源を活かし、誰もが訪れ楽しむことができるとともに、市民が誇りに思える場所の実現、市内全域に波及効果を生み出す持続可能なまちづくりを推進することを目的として、エリアのコンセプト及びデザイン計画、推進体制等を明記。

- 目指すべき方向性「日本を代表するウォーターフロントシティ」
- 競争力のある観光地となるための要素
 - 滞在する魅力イメージの醸成
 - 観光市場の変化への継続的な対応
 - 成長セグメントであるインバウンドへの訴求
- 開発コンセプト「海峡を遊びこなす、朝から夜までめぐって楽しい、現代日本の港まち」に基づく戦略
 - 海峡を遊びこなす

眺める、近づく、触れる等、海峡との接点を生み出す多様な居場所をつくる。
 イベント・アクティビティの場、移動手段として海峡を使いこなす。
 - 朝から夜までめぐって楽しめる

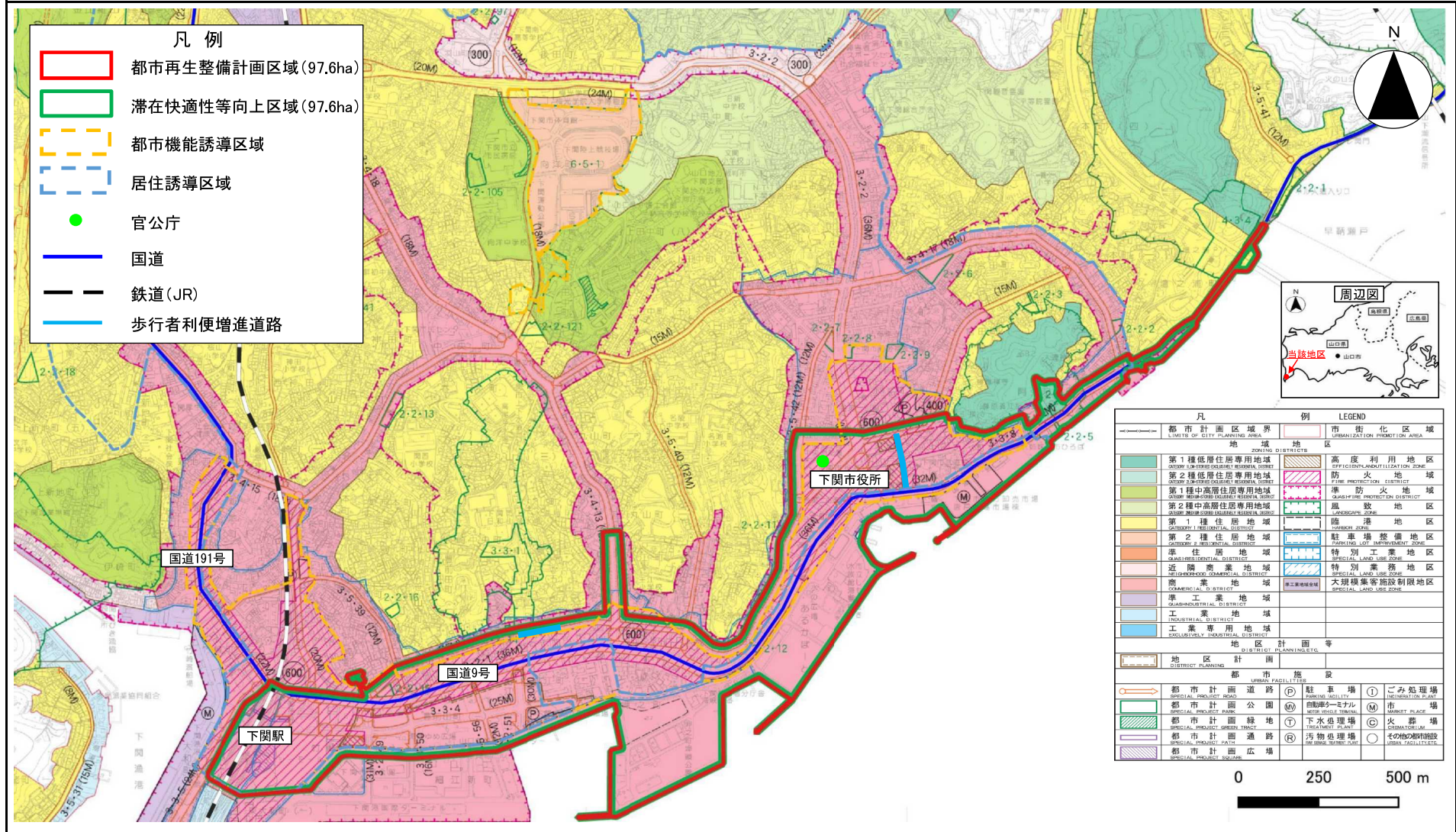
早朝の市場の活気や、海峡の夜景など、時間によって異なる魅力をつくっていく。
 多様な魅力をもったゾーンを動線・サイン・モビリティ等で結びつけ、まちをめぐる楽しみをつくり出す。
 - 港町らしさにフォーカスする

地場の水産物が楽しめるというのはもちろんのこと、釣りやクルージングといったアクティビティ、船での搬出入の利点を活かした巨大アートなど、港まちらしさや港の強みを活かした体験をつくっていく。

下関市中心市街地地区(山口県下関市)

面積 97.6(97.6) ha

区域 下関市大和町1丁目の一部～みもすそ川町の一部



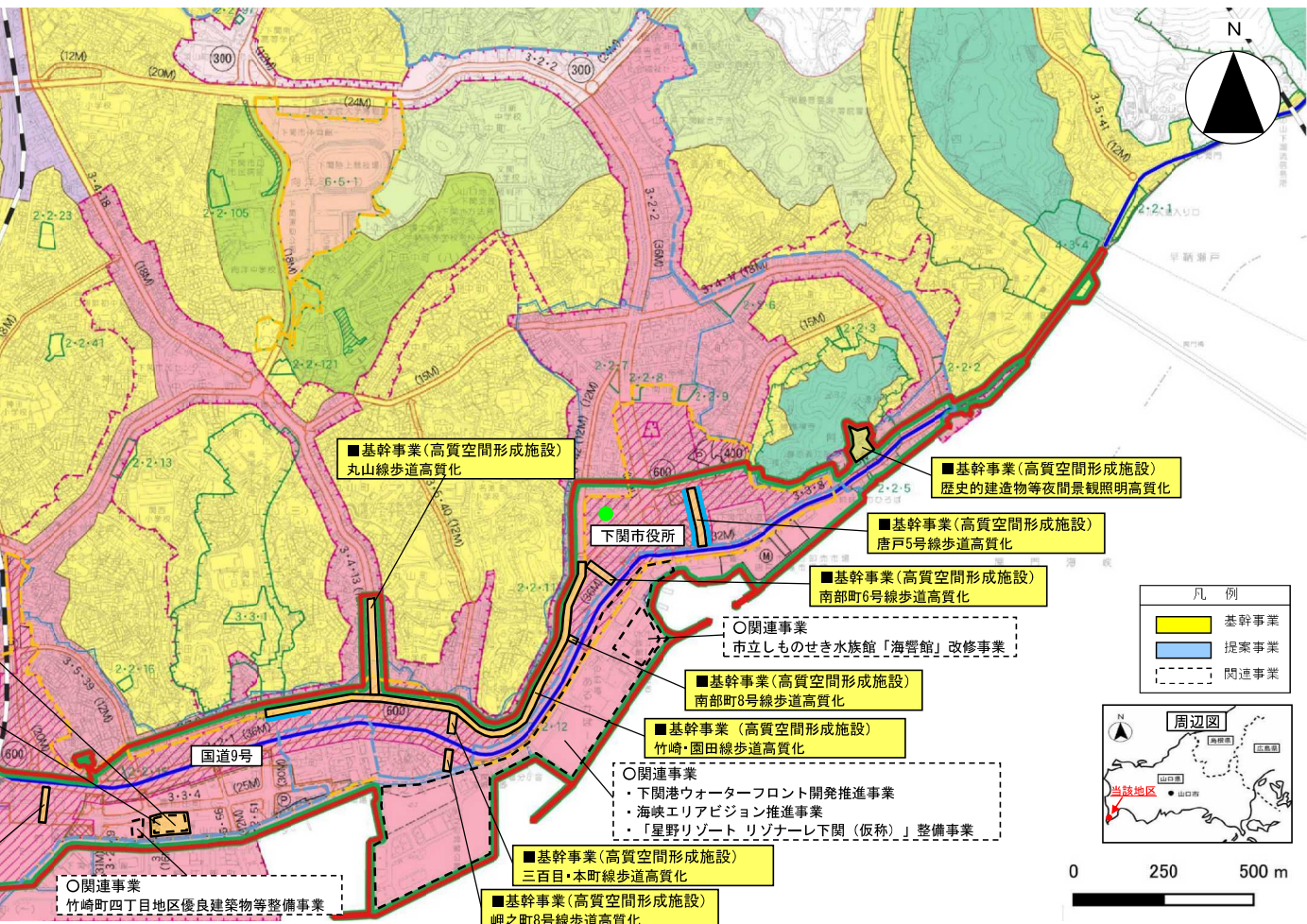
下関市中心市街地地区(山口県下関市) 整備方針概要図(まちなかウォーカブル推進事業)

目標	大目標:「居心地が良く歩きたくなる」まちなか空間の創出により、だれもが安全で快適に過ごすことができるまち	商店街等に面する道路空間の現状について「居心地が良く歩きたくなる空間」であると思う住民の割合	(%)	28	(R4)	→	50	(R9)
	目標1:歩行者が安心して快適に歩けるウォーカブル空間の創出により、観光客や住民の回遊性を向上させる	歩行者通行量	(人/日)	休日 25,926人 平日 22,732人	(R4)	→	休日 29,000人 平日 23,000人	(R9)
	目標2:まちなかの資源や低未利用地を活用した、居心地がよい滞留空間整備による賑わい再生を図る							

代表的な指標

- 凡例
- 都市再生整備計画区域(97.6ha)
 - 滞在快適性等向上区域(97.6ha)
 - 都市機能誘導区域
 - 居住誘導区域
 - 官公庁
 - 国道
 - 鉄道(JR)
 - 歩行者利便増進道路

- 基幹事業(地域生活基盤施設) 竹崎・園田線ほか情報板設置
- 基幹事業(滞在環境整備事業) 竹崎・園田線ほか社会実験
- 提案事業(地域創造支援事業) 関門橋景観整備負担金 商店街等競争力強化事業費補助金
- 提案事業(事業活用調査) 事業効果分析調査
- 提案事業(まちづくり活用調査) 中心市街地交通円滑化対策
- 関連事業
 - ・空き物件活用ビジ支援事業費補助金
 - ・地域商業機能複合化推進事業補助金
- 関連事業
 - ・オーヴィジョン海峽ゆめ広場Park-PFI
 - ・フードイベント開催事業費負担金
- 基幹事業(地域生活基盤施設) オーヴィジョン海峽ゆめ広場再整備
- 関連事業 竹崎町四丁目地区優良建築物等整備事業



- 凡例
- 基幹事業
 - 提案事業
 - 関連事業



社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和08年01月16日

計画の名称	下関市中心市街地地区まちなかウォークブル推進事業											
計画の期間	令和05年度～令和09年度(5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	下関市											
計画の目標	大目標：「居心地が良く歩きたくなる」まちなか空間の創出により、だれもが安全で快適に過ごすことができるまち 目標1：歩行者が安心して快適に歩けるウォークブル空間の創出により、観光客や住民の回遊性を向上させる 目標2：まちなかの資源や低未利用地を活用した、居心地がよい滞留空間整備による賑わい再生を図る											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,810	A	1,810	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4		R9
1	商店街等に面する道路空間の現状について「居心地が良く歩きたくなる空間」であると思う住民の割合 まちづくりに関するアンケート調査に回答した中心市街地近隣住民のうち、「思う」「どちらかというと思う」と回答した割合の合計	28%	%	50%
2	歩行者通行量(休日) 都市再生整備計画区域内外における市内主要商店街の休日の歩行者通行量 ※当初現況値25,926人はH30基準値	25926人/日	人/日	29000人/日
3	歩行者通行量(平日) 都市再生整備計画区域内外における市内主要商店街の平日の歩行者通行量 ※当初現況値22,732人はH30基準値	22732人/日	人/日	23000人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																						
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												R05	R06	R07	R08	R09						
		一体的に実施することにより期待される効果																				
		備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	下関市	直接	下関市	—	—	下関市中心市街地地区まちなかウォークブル推進事業	地域生活基盤施設、高質空間形成施設、滞在環境整備事業ほか	下関市	■	■	■	■	■	1,810		—			
												小計						1,810				
											合計						1,810					

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06	R07		
配分額 (a)	127	123	86		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	127	123	86		
前年度からの繰越額 (d)	0	59	40		
支払済額 (e)	68	142	84		
翌年度繰越額 (f)	59	40	42		
うち未契約繰越額 (g)	59	28	5		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	46.45	15.38	3.96		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	入札不調の結果を踏まえた 施工計画変更の不測の日数 を要したため	道路工事に伴う交通規制に ついて、地元との調整に不 測の日数を要したため	占用許可物件の移設調整に 不測の日数を要したため		

事前評価チェックシート

計画の名称： 下関市中心市街地地区まちなかウォークブル推進事業

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

